

第4 1 7回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	15番 山田 裕一	<p>1. 平成26年度白石市一般会計決算について</p> <p>(1) 白石市一般会計決算審査意見書にある「不用額となった理由を明らかにし適切な対応を行い、予算編成に反映されることを望む」とあるが、この監査委員からの意見書をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>(2) 本市が健全な財政運営をされていることは、承知している。一般会計の市債残高は、前年度より1億8,740万円減少の約102億8,523万円となっている。白石市役所組織再編により、効果的・効率的な業務体制により、白石版総合戦略を加速させるためには、大きな起債をするぐらいの攻めの予算編成が必要と考えるが、市長の所見を伺いたい。</p>	市長
		<p>2. 防災力向上について</p> <p>本市の土砂災害危険箇所は、283箇所であり、「白石市防災マップ」により、各地域毎に指定避難所や市が発令する避難情報、大雨による気象警報や土砂災害の前ぶれ、ゲリラ豪雨から身を守る知識などが分かりやすく掲載されている。一方、本市の自主防災組織の結成率は、白石地区内が増加したことにより、市全体で約88%の結成率である。今後、それぞれの自主防災組織をさらに能動的に活動していただくために以下の提案について、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 防災資機材の管理をスムーズに行うために、各地区公民館などに備蓄倉庫設置が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 全国の基礎自治体では、「土のうステーション」を設置し、自主防災組織などが洪水などの危険を感じた場合にみずから自由に土のうを持ち出し、被害を最小限に食い止める手立てを打っている事例があるが、本市においても「土のうステーション」の設置を検討してはいかがか。</p> <p>(3) 例えば、総合防災訓練の中に消防団の力をお借りして、「土のうの作り方」などのメニューを企画し、自主防災組織や地域住民の防災力向上を目指してはいかがか。</p>	市長
		<p>3. 市民バスのさらなる利用促進について</p> <p>白石駅前やその周辺で市民にアンケート調査を行った結果、白石駅と白石蔵王駅の距離が離れていて、乗り換えに不便であるという意見が多く寄せられた。白石駅と白石蔵王駅の間を走っている市民バスの路線は、大張線、白角線、小原線の3路線である。これら3路線の上下線を合わせると、一日28便が走っている。</p> <p>次に、利用者数を見てみると、平成26年度の市民バスの1日平均利用者数が377人である。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	15番 山田 裕一	<p>つまり、単純平均で1便当たりの乗車人数が約5人程度であることから、市民バスの利用者が多いとは、決してとは言えないと考える。加えて、白石駅と白石蔵王駅間はミヤコーバスも上下合わせて18便、七ヶ宿町営バスも上下合わせて10便の運行がある。</p> <p>しかしながら、市民や利用者からは、両駅の距離が離れていて乗り換えが不便であるという意見が出ているのも事実である。これは、バスの運行本数や時間帯を知らない市民や利用者が多いと考えることから、以下の提案について、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 出発時間、バスの種類、路線、待ち時間を組み合わせたのバス時刻表を作成し、それぞれの駅構内やバス乗り場に掲示してはどうか。</p> <p>(2) また、バス利用者の待ち時間を長く感じさせない工夫も必要と考える。他自治体では、駅前のコンビニのイトインコーナーのスペースを借りて、店舗の中に待合所を兼ねた休憩所のスペースを作ってもらうようお願いしているところもある。</p> <p>つまり、バス利用者が、待合所の代わりとしてコンビニを利用することで、地元住民が来店するきっかけにもなっていると聞くが、市長の所見を伺う。</p> <p>(3) 私が幼少時には、JR白石駅の2階部分に店舗があったことを記憶している。あのスペースをお借りし、店舗内を改修し、長机やイスなどを設置できれば、電車やバスを待つ学生の勉強スペースや電車やバス利用者の休憩所、さらに市民交流の場所になると考えるが、市長の所見を伺う。</p>	
		<p>4. 道の駅建設について</p> <p>「道の駅」の定義を再確認すると、安全で快適な道路交通環境を提供し、24時間利用可能なトイレ、休憩場所等、道路利用者への交通安全にもつながる。</p> <p>地域振興面では、観光拠点として各種イベント情報等やドライブに必要な道路情報を提供する。</p> <p>また、地域の特産物や農産物を売ることで、地域資源や観光資源拡散の効果があり、経済的効果をもたらす。</p> <p>また、道の駅を起点として観光、地域の交流する場、防災拠点機能という役割も担っている。他県と比較しても宮城県内の道の駅は、12ヶ所しかなく、特に仙台から南の地域で国道4号線沿いの道の駅はない状況にある。</p> <p>そこで、第五次白石市総合計画を加速させるためにも「道の駅」は必要な施設と考えるが、市長の所見を伺う。</p>	市長
2	16番 松野 久郎	<p>1. 白石市小中学校の将来構想について</p> <p>8月25日の全員協議会において「白石市小中学校の将来構想」について、教育長から説明をいただきました。</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	16番 松野久郎	<p>この説明の内容を踏まえ、下記の5点について質問いたします。</p> <p>(1) 検討委員会は、委員長に仙台大学阿部芳吉学長様とし、保護者や地域の方、学校関係者等11名で構成されたとのことですが、この検討委員会の委員の選定はどのように行われたのか、また、保護者や地域の方は、今回の該当校の学校区の方なのか伺います。</p> <p>(2) 今後の方針として、最終的には保護者、地域の方々に十分説明し、納得いただけるよう進めていくとのことですが、今後の具体的なアクションプランの内容について伺います。</p> <p>(3) 実施時期によっては、特に中学校へ進級する小学6年生は、途中から学校が替わるなら、進級時から区域外通学を希望する方が増える可能性があります。そうすると、極端な生徒数の減少も考えられ、中学校自体が成り立たなくなる恐れもあることから、十分に配慮したうえで統廃合をすることが大切になると考えますが、どのように対応するのか、構想を伺います。</p> <p>(4) 統合後の通学においては、スクールバス等を運行することになるとと思いますが、具体的な計画について伺います。</p> <p>(5) 特に小学校区では、地域の子供は地域で育てることを目的に、各小学校区の子ども会育成会等とのかかわり合いや地域とのかかわり合いについて、どのようにお考えか伺います。</p>	
3	1番 佐藤龍彦	<p>1. 子ども医療費助成制度について</p> <p>(1) 子供がけがをしたり、病気になった時に、お金の心配なく病院にかかれる子ども医療費助成制度は、窓口負担の無料化や対象年齢の引き上げなど、制度の拡充を求める取り組みが各地で進められています。</p> <p>白石市でも昨年10月から、医療費無料の対象が中学校卒業までに引き上げられ、子育て中のお母さん方からも医療費が無料になって助かっているとの声も寄せられています。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>① 高校卒業まで助成制度を拡充した時の医療費の試算はいくらくらいになるのか。</p> <p>② 助成制度の対象を高校卒業まで引き上げる考えはないのか。</p> <p>(2) 所得制限について、あるお母さんから「白石に引っ越して来て驚いた。医療費助成制度に所得制限があり、私の子供は助成を受けられなかった。以前住んでいた所では、所得に制限がなかったので、白石でも助成が受けられるようにしてほしい。」という声でした。</p> <p>近隣の蔵王町でも子育てや定住促進のために、所得制限を撤廃したと聞きました。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	1番 佐藤龍彦	<p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>① 所得制限を設けていることに対し、そもそも、子ども医療費助成制度の性格は、子育て支援が主なのか、低所得対策とお考えなのか伺います。</p> <p>② 若い世代の定住促進のためにも、子ども医療費助成制度の所得制限を撤廃する考えはないのか伺います。</p>	
		<p>2. 国民健康保険税について 第415回定例会の継続の質問です。</p> <p>(1) 平成27年度の白石市における保険者支援金の交付額はいくらなのか。</p> <p>(2) 支援金でどのような軽減策をお考えなのか。</p> <p>(3) 平成30年度、県単位化によって、現在ある国保財政調整基金はどうか。</p> <p>(4) 国保財政調整基金の一部を取り崩して、国保税の引き下げを実施できないのか。</p>	市長
4	3番 伊藤勝美	<p>1. 安全保障関連法案について 集团的自衛権行使にかかわるいわゆる安全保障関連法案が、国会で審議をされています。これまでの憲法の平和主義・安全保障政策を大きく変更することになる法案であり、多くの国民の理解も得られていない状況ではないかと考えます。今国会で審議されている安全保障関連法案について、どのような見解を持っているのか伺います。</p>	市長
		<p>2. 白石版地方創生について 数値や目標などは、白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略、「人口ビジョン」及び「総合戦略」の体系（素案）をベースにしてお尋ねいたします。</p> <p>(1) 人口ビジョンについて この地方版総合戦略まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたっては、まず人口の現状分析を行い、人口の将来展望を示すこと、すなわち人口ビジョンを策定することがポイントとして上げられております。この将来展望は、2060年までの長期ビジョンが求められているようですが、今回示された（素案）における人口予測の根拠、そして設定された目標人口について伺います。</p> <p>(2) 総合戦略の目標設定と具体的施策の選定の過程について 現在は、（素案）の段階ですが、これらを実行計画にするまで、今後、どのような検討を重ねていくのか伺います。</p> <p>(3) 5か年計画の主眼と主な施策について 人口ビジョンで2060年を見据えています。その礎となる総合戦略の5年間、2015年から2019年をどのような視点を持って施策を進められていくのか伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	<p>います。</p> <p>(4) 進捗状況の把握と目標管理の方法について P D C Aサイクルを通じて地方版総合戦略について、客観的な効果検証を実施すべきとされておりますが、その進捗の把握の方法、管理の方法はどのようになさるのか伺います。</p> <p>(5) 近隣市町との調整について 近隣市町との間で激しい競争が巻き起こり、場合によっては、お互いに疲弊するようなサービス合戦が起こってしまえば、本当に元も子もないというふうに考えますが、近隣市町との連携や調整というものは、どのように考えているのか伺います。</p> <p>(6) 予算確保について 目標を実現するにあたっての予算確保については、どのようにされていくのか伺います。</p>	
		<p>3. 防犯カメラ設置促進について</p> <p>防犯カメラは今や私たちの身近にあり、さまざまな場所で普及しております。スーパーやコンビニなどの商業施設に関しては、万引き等の犯罪行為に対する防止策として、アパートや住宅等では、不審者や侵入者の監視、道路では、交通災害に関する監視など、実にさまざまな場面で設置され使われております。</p> <p>それから、最近の事件においては、防犯カメラの映像が、犯人逮捕の決め手となったり、長期逃亡中の犯人の足取りを防犯カメラの映像で捉え、指名手配犯の逮捕につながったりしたことは記憶に新しいところであります。</p> <p>防犯カメラは、全国的に駅や商店街、道路、公園といった公共空間にも防犯カメラが設置されるようになってきました。特に増えたのは、最近多発している児童誘拐や連れ去り事件の影響から、学校の周囲や通学路に設置される防犯カメラです。</p> <p>警察庁によると2013年に児童（13歳未満）の連れ去り・誘拐事件は94件発生し、これは成人を含めた全被害者の51.1%を占めており、ちなみに、この手の事案は、毎年90件前後も発生しているとのこと。子供たちを犯罪から守るため、従来は、地域パトロールや防犯ブザーの携帯などで対処していたのですが、それでも被害件数が減らず、防犯カメラの導入に至ったと考えられております。</p> <p>また、コンビニやガソリンスタンドをはじめ、民間事業者が多数の防犯カメラを設置しておりますが、必ずしも子供たちの安全確保を目的に設置したものではありません。</p> <p>やはり、通学路や公園などに設置することによって、特に子供たちを犯罪から守る効果が期待されるのではないのでしょうか。当然、防犯カメラを設置したからといって、100パーセントの安全がもたらされるわけで</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	<p>はないことは言うまでもありません。</p> <p>一方、防犯カメラは、個人を監視するため、個人情報保護の観点からさまざまな問題を指摘されてはおりますが、地域防犯力の向上や、事件や事故の解決に効果を発揮することから、多くの自治体で防犯カメラの設置が進められているようです。</p> <p>平成26年の警察白書には、防犯カメラが公共の安全を確保するために重要な役割を果たすようになっていると、指摘がなされております。</p> <p>そこで、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内における防犯カメラの設置状況を伺います。 (2) 市内小・中学校周辺での設置状況を伺います。 (3) 小中学校周辺及び主要通学路への防犯カメラ設置促進に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。 (4) 防犯カメラを地域の自治会・住民などが要望する場所に設置できるよう助成などを推進すべきと考えますが、見解を伺います。 (5) 防犯カメラ設置の増加にともない、防犯カメラの運用規定などを定める条例制定の動きが全国の自治体に広がっているようですが、所見を伺います。 	
		<p>4. 全国学力テストについて</p> <p>先般、本年4月21日に実施された平成27年度全国学力・学習状況調査、通称、全国学力テストの結果が先月25日に公表されております。</p> <p>河北新聞の記事によりますと、東北各県（公立）の平均正答率は、秋田県が小中学校の全10科目中6教科で、全国1位となり、他4科目も2、3位で引き続き上位を維持している。</p> <p>宮城県は、小学校の全科目が平均正答率より低く、小学校算数A・Bは全国平均を1～2ポイント下回り、上位との格差は前年度より拡大している。中学校は、数学A・Bがともに平均に届かず、抜本的な対策の必要性があらためて浮き彫りとなった、と報じられております。</p> <p>そこで、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市での学力テストの結果はどうだったのか、また、県内においてはどのような位置にあるのか伺います。 (2) 毎年度、結果の分析、課題の改善が図られていますが、今年度の結果を見られて、昨年までの改善策がどの程度成果として表れているのか所見を伺います。 (3) 学力テストの結果の上位県との基本的な差異は何かあると考えられるのか、また、その解消のため、改善策を立て実行することが必要と考えますが、見解を伺います。 (4) 学力テストを受けた小中学校の児童生徒へのアンケート調査も同時に実施されていますが、その調査結果はどうだったのか所見を伺います。 	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	(5) 今後の課題と指導方針はどのようになされるのか見解を伺います。	
5	7番 管野恭子	<p>1. 下戸沢簡易水道の水源について 小原下戸沢地区における簡易水道の水源は、近年、水量の減少により、市の給水車が当地区へ通う回数が増加している現状がある。水量は以前の4分の1ぐらいまでになっている。 当地区は、家と家が接近して建築されており、徒歩でも区内を短時間で移動でき、高齢の方も近隣との交流も良くできる環境にあり、また、地区人口の減少はあるが、結婚後もこの地に住み、一生懸命に働いている若い世代、県外から家族で戻り両親と暮らし始め、地域貢献している方等もあり、さらに、通常は不在の故郷の家を別荘にし、年に数回戻り近隣と交流し、生まれ育った自然環境を楽しんでおられる方もいる。 市の中心地から離れた山間地区ではあるが、工夫次第で、人を呼び込むことも可能であり、そこに知恵を働かすのが地方創生の大事なところである。 しかし、命の源である水資源が不足するような現状では、地方創生以前の問題である。 早急に安定供給できる水源確保を検討すべきと考えますが、見解を伺う。</p>	市長
		<p>2. 河川保全区域の公有地の有効活用について 福岡区内を流れる白石川・敷地の隣地、岩崎市営アパートの東南に位置するところに、河川保全区域になっている市の所有地があるが、駐車場に整備し、賃貸を検討してはどうかと考える。 その理由として、駐車1台可の岩崎市営アパートでは、2台以上の車を保有している世帯も増えており、アパートの近くに駐車場を求めたい声が多く出ている。当土地は面積も広い。一部を活用し、市民の利便性を図るべきと考えますが、見解を伺う。</p>	市長
		<p>3. 図書館について (1) 図書購入予算について 本市の図書購入予算は、毎年500万円ほどであるが、この額では、自然科学、産業、言語、哲学の分野の図書が高額でもあるため、購入が難しいと関係者から聞いている。 これらの専門性の高い図書こそ、図書館に備えておくべきであると考え。本市図書館の使命をより多く果たせるために、図書購入予算の増額を検討すべきではないか、見解を伺う。 (2) 書籍消毒機の設置について 不特定多数の方が手に取る図書は、汚れることも多く、インフルエンザ、ノロウイルスなどが流行した場合等は、感染の心配も生じる。そこで、書籍消</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	7番 管野 恭子	<p>毒機を導入する図書館が増加している。当機械は、紫外線を使い書籍を殺菌消毒し、数分でウイルス・雑菌を9割以上、さらに風によって、髪の毛やダニも除去するものである。実際に導入したところでは、希望する方が借りた本を、自分で当機械を使い消毒をしているとのこと。</p> <p>衛生的、快適に利用していただけるよう、本市図書館においても、ぜひ検討すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 図書館の新築について 本市図書館は、昭和49年に建築され、40年を経過し、老朽化が目立ってきており、また、空間的にも狭い現状である。諸視点から図書館の新築を検討していく時期と考えるが、見解を伺う。</p>	
6	2番 保科 善一郎	<p>1. 白石版地方創生総合戦略について</p> <p>(1) 白石市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定する戦略会議を開催されておりますが、その進捗状況をご教示ください。</p> <p>(2) 白石市の現状は、人口が減少、基幹産業が伸び悩むなど厳しい状況にあります。本市は、高速道路や新幹線など立地条件の優位性を有しており、また、優れた地域資源も数多く、その地域特性を十分に活かし、これらを活用して生産性の向上と交流人口の拡大を図る余地は十分にあると考えられます。</p> <p>「道の駅」「スマートインター」等は、地域を活性化する有効な方策であり、国内・海外からもより多くの集客を集め成長していくことが期待できると考えますが、ご所見を伺います。</p> <p>(3) 地域経済分析システム（RESAS）の活用状況を伺います。</p>	市長
		<p>2. 市内小中学校の将来構想について</p> <p>市内小中学校の児童・生徒数の減少を危惧し、検討委員会が設置され、文部科学省の適正規模を基準に、答申及び今後の方針が示されましたが、児童・生徒数が減少した要因分析について、自然的要因なのか、社会的要因によるものなのか、改善方策はないのか、協議経過についてご教示ください。</p>	教育長
7	11番 四竈 英夫	<p>1. TPP（環太平洋経済連携協定）に対する所見について</p> <p>間もなく秋の取り入れの時期を迎えますが、農家にとっては大きな不安を抱えた実りの秋ではないかと思えます。なぜなら、今年の米価は、農協出荷仮渡しの金額が1俵(60kg)当り8,400円という前代未聞の安い価格だったからであります。今年はどうなるのか、まさに正念場と言えます。加えて、異常高温や長雨などによる農作物への影響、肥料農薬など生産資材の値上</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	11番 四 竈 英 夫	<p>がり。また、放射能の心配も続いています。サルやイノシシなどの被害も深刻化しており、農業経営は非常に厳しい状況におかれています。そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) TPP（環太平洋経済連携協定）は、依然として決着がついておりません。日本は、主要農産物5品目を守るため、交渉を続けておりますが、合意に達しておりません。</p> <p>こうした状況を市長はどのように捉えておられるかお伺いいたします。</p> <p>(2) 政府に対して、どのような働きかけをしたいとお考えでしょうか。</p> <p>(3) 農家に対しては、どのような対策を講じられるかお伺いいたします。</p>	
		<p>2. 小中学生の校内校外生活について</p> <p>長い夏休みが終わりました。休み期間中、児童生徒は学校生活から離れ、普段はできないさまざまな体験をして人間的にも大きく成長したと思います。それは大変有意義なことではありますが、長期間、先生の手から離れることによって、さまざまな問題が発生することもあります。学校生活からの開放感により、生活のリズムが狂ったり、不規則な生活を送ってしまいがちです。その結果、思わぬ事故や事件に遭遇してしまうことがあります。</p> <p>そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 夏休み期間中に、水の事故や交通事故その他事件事故はなかったでしょうか。</p> <p>(2) 中学生が深夜や早朝に徘徊し、事件に巻き込まれた悲惨な事件がありました。本市においてはそういう事件はないと思いますが、深夜などに外出する生徒はいないか。そうしたことをさせないために、どのような指導を行っておりますか。</p> <p>(3) 万引きや暴行事件などに巻き込まれたことはないでしょうか。</p> <p>(4) 携帯電話やスマートフォンなどの普及により、有料サイトへの過剰アクセスによる金銭的な被害やトラブルはないでしょうか。</p> <p>(5) 長時間ゲームに熱中し、勉強に影響を及ぼすようなことはないでしょうか。ゲームやテレビを見る時間について、どのような約束や指導をされていますか。</p>	教 育 長
		<p>3. 学校におけるいじめ、不登校、ひきこもりなどへの対応について</p> <p>東北6県で過去6年間に自殺をした児童生徒の数が154人に上ることが新聞に報道されておりました。主な原因は、学校問題、健康問題、家庭問題などです。</p> <p>学校問題を見ると、進路の悩み、友人との不和、い</p>	教 育 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	11番 四 竈 英 夫	<p>じめなどとのことであります。</p> <p>先日は、岩手県でいじめが原因で自殺した生徒の報道がされました。</p> <p>また仙台市では、昨年秋に中学1年生の男子生徒がいじめを苦に自殺したことを、約1年後に公表いたしました。</p> <p>本市においてはこうした悲しい事件は発生していませんが、いじめや不登校、ひきこもりなどは皆無ではないとのことであります。</p> <p>そこで、次のことについて伺います。</p> <p>(1) いじめや不登校、ひきこもりなどの兆候について、どのような配慮・気配り・目配りをされているでしょうか。</p> <p>(2) もしそのような兆候が感じられた場合、どのような対応がなされているのでしょうか。</p> <p>(3) いじめは一人で悩みを抱え込むことが多いと思われそうですが、相談しやすい環境や配慮がされているのでしょうか。</p> <p>(4) 父兄との連携はどのように取っているのでしょうか。</p>	
		<p>4. 今後の学校の再編について</p> <p>少子化に伴う児童数の減少から学校のあり方について、検討委員会からの報告が示されました。現状分析と将来の予測について、具体的な数字をあげて示され、将来像が見えた感じがいたします。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) この報告書の結果を、今後、どういう段階を経て関係者に周知していくのでしょうか。</p> <p>(2) このことは生徒と父兄だけ問題ではなく、地域全体に関わるものだと思います。したがって、地域全員の理解と合意が必要と思われそうですが、それらへの対応について伺います。</p>	教 育 長